

2016 SUMMER  
Vol.28

T  
S  
U  
N  
A  
G  
E

【繋ぐ】

広げる Special Issue:

# 命の鼓動が聞こえる 「紙ひも」動物アート

出会う トップ営業から受け継がれる  
KPPの「営業スピリット」

先どる 破れにくい和紙を使った  
日用品ブランド「SIWA | 紙和」

# 等身大の“命”を象る 「紙ひも」動物アート

厳しい自然を生き抜く逞しさを感じさせる豊かな表情。  
一ツ山チエさんの創る野生動物の立体オブジェには、生命力がみなぎっています。  
作品に用いられる材料は、情報媒体としての役割を終えた古新聞。  
この新聞紙に、独自の感性と繊細な手技を加えることで  
アートとしての生命と価値が宿り、新たなカタチに再生されていきます。  
彼女の作品には、つねに「命」というテーマが存在しています。  
それぞれの「生」を当たり前のように過ごす、多種多様な動物たち。  
その自然への尊敬と尊厳を表現した彼女の作品には、  
「生」をまっとうしようとする動物たちの、力強さと輝きがあふれています。

**広げる** ..... P01  
等身大の“命”を象る  
「紙ひも」動物アート

**先どる** ..... P06  
和紙を日々の暮らしに  
注目の雑貨ブランドSIWA | 紙和

**伝える** ..... P07  
時代小説を“描いた”  
挿絵画家からの礼状

**出会う** ..... P09  
連綿と受け継がれる  
KPPの「営業スピリット」

**訪ねる+** ..... P11  
印刷文化の足跡を辿る博物館  
「ミズノプリンティングミュージアム」

**深める** ..... P13  
KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ

**訪ねる** ..... P15  
紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」

**作る** ..... 付録  
さまざまな用途に使える  
「二層式スクエアボックス」

# 捨てられる新聞紙を用いて、 エネルギーギッシユな 生命の息吹を表現する。

## 古新聞に命を吹き込む 緻密で丹念な手作業

遠く海の向こうを憂うように見つめるセイウチや、大海原を悠然と泳ぐジュゴン、我が子を愛しむように抱きかかえるゴリラなど、その息づかいが今にも聞こえてきそうなほどリアルで写実的な立体作品の数々。厳しい自然を生き抜く動物たちの、ありきたりの日常をデジタル化した作品には、過酷な「生」の営みを続ける逞しさだけでなく、どこか人間に共通するユーモラスな個性にあふれています。

「私がこだわるのは、何よりも動物のリアルさなんです」。そう話すのは、新聞紙を材料に動物の立体作品を制作する「ツ山チエさん」。新聞紙でつくった紙ひもを材料に造形する独特の手法で、1分の1スケールの迫力ある立体作品を生み出し続けています。その材料となるのは、新聞紙と紙ひものみ。「2メートルを超えるような大きな動物であれば、躯体の幹と小さな動物であれば新聞紙のみでつくり上げます」とツ山さん。ねじった新聞紙を何層にも重ね固めるように貼り付けることで、動物の躯体部分にあたるアウトラインを造形。その

上から新聞紙を擦った小さなパーツを差し込むように貼り込むことで、動物の体毛や皮膚のシワを表現していくそうです。「短冊状に切った新聞紙を水で湿らせ、手でねじるように小さなコより、を大量につくっていきます。身体部位に合わせて太さを変えるのですが、その色味も重要な要素です。猿の赤い顔をつくるのであれば、大量の新聞紙から赤い印刷面を探すことからはじまるんです。赤といってもその濃度はさまざまですし、そのうえに黒やグレーの文字が印刷されているものがほとんど。それを擦ることで生まれるグラデーション効果も含めて表現するように心がけています」とのこと。各部位の正確な形状、毛並みやその密度など、細部にいたるまでの鋭い観察眼と、細かく繊細なパーツのつひとつを丹念につくりあげるこだわりが、読み古された新聞紙に生命の息吹を吹き込むのです。

## ルーツを遡ることで見いだした 自分なりの表現方法

富士川や富士山の伏流水などの豊富な水資源と、和紙の原料となる楮や三椏に恵まれた静岡県富士市。製紙業をもとに発展を遂

造形作家

### 一ツ山チエさん

1982年、静岡県生まれ。2004年東京工芸大学芸術学部デザイン学科卒業。大学卒業後にイラストレーターとして活動しながら、立体作品の制作を開始。現在の、これに似た新聞紙を貼り合わせる表現技法を確立したのを機に「hitotsuyama.studio」を設立。2011年、静岡県富士市に拠点を移す。銀座三越ギャラリー（2013年）、アンデルセン子供美術館（2014年・千葉県船橋市）をはじめ、全国各地での作品展を多数開催。現代アートの開拓者として脚光を浴び、国内外からの制作・出展依頼が後を絶たない。



### 一ツ山スタジオ

作家一ツ山チエさんと、クリエイティブディレクター・玉井富士（たまいとみじ）さんによる創作ユニット。一ツ山さんが創作活動を、作品の方向付けや展示の構想・企画・発信方法など、コンセプトワークの部分を玉井さんが担当する。アトリエがあるのは、静岡県富士市。実家の家業である製紙（紙ひも）工場の倉庫を改装した大きな空間に、約30体の作品が並ぶ。



「GORILA'S MOM」(2012)

「I am god!!」(2013)



「セイウチの涙」(2014)



「大地に生きる」(2012)



「ウミガメ」(2014)



「ジュゴンの親子」(2014)



「イワイグアナ」(2015)

げてきたこの街には、いまもなお数多くの製紙工場が軒を連ね、家庭紙、板紙、特殊紙などの生産量は、国内トップクラスの品質とシェアを誇っています。この地で生まれ育った一ツ山さんが、作品の材料に「紙」を選んだのは、必然だったと言えるかもしれません。「祖父の代から紙ひも工場を営む家庭に生まれたこともあって、物心がつく前からとつもない量の紙に囲まれて育ったんです。もちろん遊び道具は紙。大きな機械の前に生懸命働いているおね」と当時を振り返ります。

幼少の頃から、ものづくりによる表現者を志していたという一ツ山さん。高校卒業後、都内の芸術大学に進学し、イラストレーションやグラフィックデザインを学んでいたものの、つねに菌車がかみあわないジレンマを感じていたそうです。「もともと絵が特別上手だったわけではなく、何かの賞をもらったこともありませんでした。大学の授業を受けていても、教わったことに納得しきれず、いつもどこか違和感を抱いていました。それほど優秀な学生ではなかったと思います」と語ります。そんな菌痒さと同不安を抱きながらも大学を卒業し、イラスト

レーターとして活動をはじめた一ツ山さん。仕事と並行して自分にしかできない表現を模索するなか、さまざまな人々との出会いを機に自分を見つめ直すことで、徐々にその視界が開けていったそうです。「卒業後にギャラリーでアルバイトをしていて、そこでさまざまなアートや作家さんに出会えたことが大きかったです。今、チームとしてともに活動している玉井さんとも、そこで出会いました。表現の技術も知識もなく、本当にゼロベースから人とのご縁を大切にすることで、少しずつ道が開けていった感じです。そんな彼女が辿りついた先にあったのが、幼い頃からの記憶に刷り込まれた紙ひも。「それまでイラストを描いていても、また別の何をつくっても、誰かの物まねのようない感じがして腑に落ちない感覚がありました。そんなとき、自分にしかないものは何か」と自問自答を繰り返すなかで、自分のバックグラウンドの大きな部分を占めているもの、紙ひもに辿り着いたんです。「紙の街に生まれ、紙が身近にある環境で育った彼女にとって、自らの表現者としてのアイデンティティは紙なのだ」と気づいたのです。

新開発の和紙素材が可能にした、  
生活になじむプロダクト「SIWA | 紙和」の魅力とは？



トートバッグ  
(RPFナオロン・S / H270×W270×D150 mm  
M / H324×W324×D180mm)



ランチバッグ  
(ソフトナオロン・H180×W200×D95mm)



ひも付き封筒  
(ソフトナオロン・H345×W250×D35mm)

SIWA | 紙和とは？

山梨県の障子紙メーカー(株)大直が、デザイナー・深澤直人さんとのコラボによって立ち上げた日用品ブランド。独自に開発した新素材(ナオロン)と和紙漉きの製法で作出す製品は、革のような深い味わいと高い機能性が話題を呼んでいます。



ブックカバー 文庫サイズ  
(ソフトナオロン・H158×W305mm)

特徴は？

- ①「破れにくい」  
通常の障子紙の3~5倍の強度がある
- ②「水に強い」  
傘などの濡れたものを入れても破れない
- ③「重さに強い」  
10kgの耐荷重テスト済み
- ④「軽い」  
日常使いはもちろん、旅行やサイドバッグにも
- ⑤「しわの風合い」  
使い込むほど、味わい深い色に変化

※使用頻度や年数によっては素材が摩耗し、破れてしまうこともあります。

「和紙を日々の暮らしに」  
注目の雑貨ブランド  
SIWA | 紙和



ボックス  
(ソフトナオロン・M / H500×W220×D220 mm L / H550×W286×D286mm)

購入は？

- WEBで購入  
ペーパーモール 検索  
URL: <http://www.kpps.jp/papermall>
- 店舗で購入  
「SIWA Collection 東急プラザ銀座店」  
東京都中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座6F  
TEL: 03-6264-5344



スクエアバッグ  
(RPFナオロン・S / H270×W220×D120mm  
M / H320×W320×D115mm)

素材は？

- ソフトナオロン  
木材パルプとポリオレフィン繊維を原料に、和紙漉きの製法で作った自社開発の紙。
- RPFナオロン  
使用済みのペットボトル・繊維製品を再生したポリエステルリサイクル繊維を使用した独自製法による紙。



スリッパ RPF Type  
(ソフトナオロン・RPFナオロン・S / 22~25cm L / 26~28cm)



1 材料となる新聞紙は回収業者の方から譲り受けたもの。近所の方からの持ち込みによって提供されることも多い



2 制作するパーツの大きさに合わせて新聞紙をカットする



3 刷毛を使って新聞紙を水で濡らす



4 現在制作中の猿のオブジェ(無題)。お寺の寺子屋スペースに置き、子どもたちに楽しんでもらう目的で依頼された作品

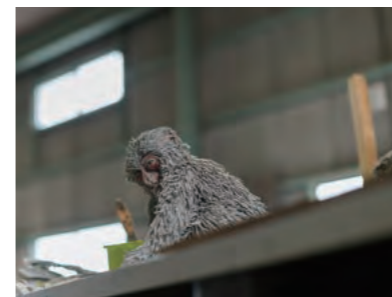


5 クルクルとこより状に丸める



6 紙ひもに木工用ボンドを付け、1本ずつ差し込む

私にとって、“創る”ことは“学ぶ”こと。  
人生のすべてがつながってカタチになるんです。



自然に生きる動物たちのありのままの命を描く

紙をこより状にねじることで1本の紙ひもにし、それを重ね合わせることで美しい曲線と深い色彩を表現する「ツ山さん」の作品。そのモチーフに動物を選んだ理由には、彼女の心を揺さぶる、ある鮮烈な体験があったそうです。「イラストレーターとして活動していた2007年、あるNGO団体からの依頼で訪れたアフリカ・ザンビアの国立公園で人間のエゴによって傷ついた野生のサイと遭遇したんです。案内してくれたレンジャーの方から、角を狙った密猟者によって残酷な殺され方をしていることを聞いて、この現状を多くの人に知ってほしいという思いも込めて、最初の作品であるサイ(作品名:君が心の叫び 歌はいまもきこえつづける 2011年)をつくりました」とツ山さん。大自然と動物という未知の世界に直接触れたことで、彼女のインスピレーションが大いに刺激を受けるとともに、作品を通してメッセージを発信する使命感を感じたそうです。「それ以降、命とは、生きるとはどういうことなのかを、強く意識するようになりました」

た。自然に生きる動物も、同じ地球でもに生きる生命として対等な存在であり、ときには寝たり、ときには食べたりして、ありきたりな日常を送っている。彼らの命、そのものを伝える意味でも、可能な限り等身大の大きさで、リアリティにこだわって創作していきたいと思っています。

過酷な自然を懸命に生きる動物たちのたくましさや、命をまっとうしようとする生の輝き、日々の営みそのものを描く「ツ山さん」の作品には、私たち人間が忘れかけている何かを思い起こさせる力があるのかもしれない。「まだまだ試行錯誤の繰り返しです」という「ツ山さん」。私の今の作品は、これまでに感じたことがつながってカタチになっているんだと感じています。創ることは、学ぶこと。これからの人生で見たり聞いたりすること、たくさんの方のアーティストとの出会いを通して、自分自身が成長していけたらいいなと思っています。自分のなかで凝縮したものを生かして、新たなチャレンジへと進み続ける「ツ山さん」。そのエッセンスでクリアな感性は、さらに研ぎ澄まされていくはず。

TOPICS 9月から来年1月の4か月間、アメリカでの展示キャラバンが決定!

日時 / 9.3sat - 10.15sat  
会場 / JAI & JAI Gallery  
住所 / 648 North Spring Street Los Angeles, CA 90012  
HP / <https://www.jainjai.com/>

日時 / 10.1sat - 2017.1.15sun  
会場 / CEDAR CENTER The Lancaster Museum of Art  
住所 / 44857 Cedar Ave. Lancaster, CA 93534  
HP / <https://www.lancastermoah.org/>

# 「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だといったのはJ・ラスキンだが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

## 第七回 中一弥

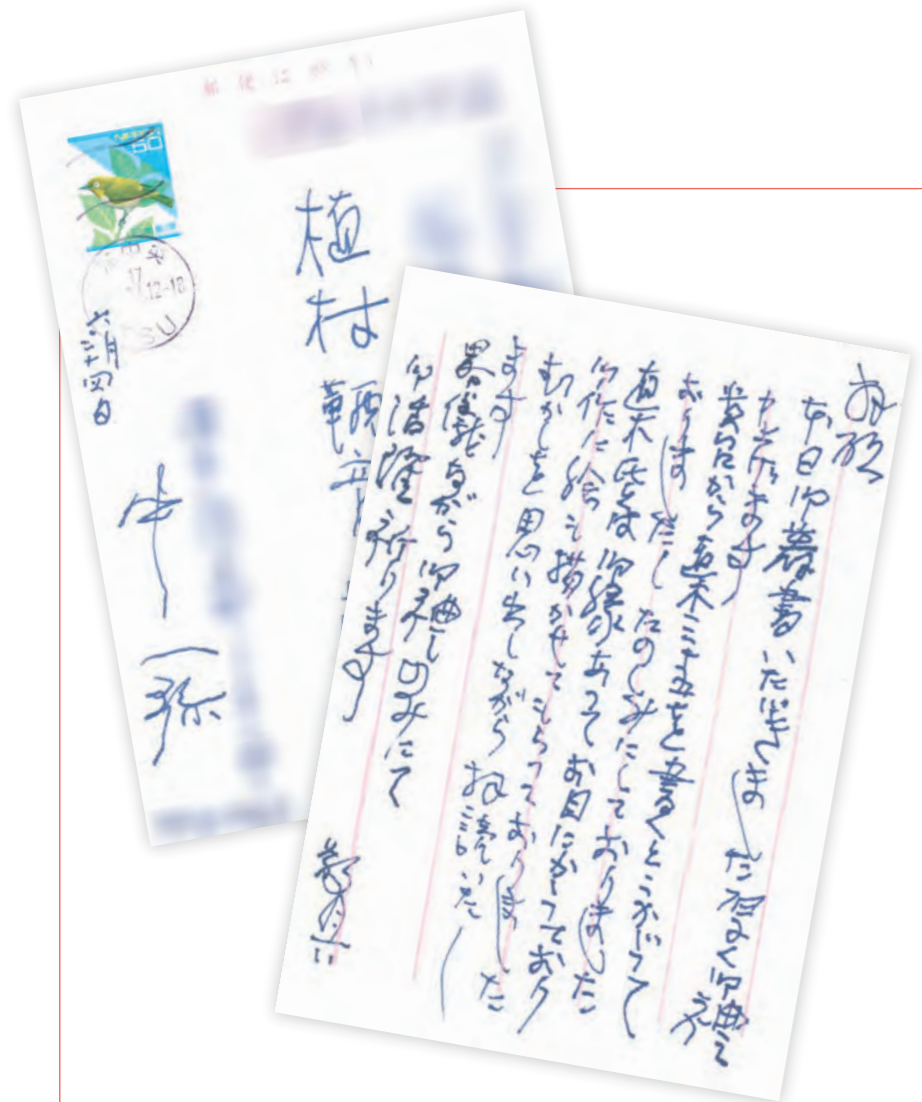
中一弥さんは昨年十月、百四歳で亡くなった。わたしは、平成元年、伯父直木三十五を偲ぶ「南国忌」で知り合い、以来二十数年間、年賀状を主に文通があった。残っている年賀状を数えてみると、平成七年から昨年のもので十三通、ほかに師匠だった小田富弥画伯の展示会の案内、転居の通知、わたしが撮って送った写真への礼状、贈呈したわたしの最初の著作「直木三十五伝」への礼状の四通がある。知り合った翌平成二年から六年までの年賀状が見当たらないのは、最初のころ中さんとの交流が二十数年もの間続くと感じていなかったのかもしれない。中さんとの交流が二十数年もの間続くと感じていなかったのかもしれない。

「南国忌」は、毎年直木の命日二月二十四日直前の日曜日に、墓のある横浜富岡の「長昌寺」で開かれる。午後時から供茶の儀式と住職の読経と参列者の焼香があり、墓参のあと講演、懇親会と夕方まで続くのだが、平成元年のゲストスピーカーが中一弥さんだった。嬰鏢としてはおられたが、それでも当時三十歳近く若かったわたしの目から見ればやはり老画家であった。そのわたしがいつの間にか当時の老画家とほぼ同じ年齢になっていることにはおどろきを禁じえない。

当代随一の売れっ子だったので、緊張しながら電話をいれると、「ああそう、きみがやってくれるの、それじゃ新聞社についておく」。実にあっさりしたものだったという。

もっとも、その後つき合いが始まって、中の奥さんが越町の直木の家で上女中として働くことになったとき、正妻の寿満や長女の木の実のいじめにあったエピソードなどは、血縁のわたしにとってけつして後味のよいものではなかったけれど。


その日、中さんは息子で直木賞作家でもある逢坂剛さんを同道されていた。最近雑誌のグラビアなどで逢坂さんの写真を拝見するとあのころの中さんが髣髴とする。懇親会には、胡桃沢耕史、谷崎終平、青木雨彦、和嶋せい氏などの顔もありにぎやかだった。



中一弥

挿絵画家  
1911-2015

大阪府北河内郡大和田村(現・門真市)出身。1929年、直木三十五の新聞小説「本朝野士縁起」の挿絵でデビュー。以来、池波正太郎の「鬼平犯科帳」や山本周五郎、藤沢周平、吉川英治など、時代小説の挿絵画家として活躍した。小説家の逢坂剛は三男。1993年に菊池寛賞、1996年に勲四等瑞宝章、2014年に吉川英治文化賞を受賞。



中さんはその日、「私の修行時代と直木さん」という題で講演された。竹内栖鳳に手ほどきを受けた叔母さんに絵を学んだ中さんは、大正の末、朝日新聞に連載された大佛次郎の「照る日曇る日」という連載小説の小田富弥の挿絵にほれこみ、小田を宝塚の自宅に訪ねて首尾よく内弟子になる。直木三十五に初めて会ったのは昭和三年のこと。玄関番をしていると、玄関に黒っぽい着物を着た長身の男が、ぶっきらぼうに「直木だが、小田くんはいるかね」といいながら入ってきた。その日は朝から雨で夕方にあがった。中が小田に取り次ごと外をたしかめると、石畳の先の松の木の下に和服の女性がひっそり立っていた。あとになって知ったが、それが直木の生涯の愛人・香西織恵だった。すらりとした姿のいい女性で、庭の松葉に宿った雨の雫が街灯の光をうけてキラキラ光っていたのを覚えている。

翌年、直木が「名古屋新聞」に「本朝野士縁起」という小説を連載することにになり、小田の推挙で中が挿絵を描くことになった。これが中の挿絵画家としてのデビュー。直木は代表作「南国太平記」を執筆する前年。

池大雅といい中川一政といい、わたしは画家の書が好きだ。あれは一幅の絵といってもいい。中さんの字も味のあるものだった。文面も誠実な人柄をよく表している。

「貴台から直木三十五を書くとうかがっております。直木氏とは御縁あつてお目にかかつており御作に絵も描かせてもらっております。むかしを思い出しながら拝読いたします」


これは、拙著を献呈した折の礼状。亡くなった昨年の年賀状には直筆で「賀春二〇二五年元旦 中一弥」とある。表には晩年同居した長男・祐郎さんの「入院のため賀状がおそくなりました」と添え書きがしてある。中さんの文字に、高齢のためかふるえが見える。中さんは逢坂さんの励ましもあったのだろう、亡くなるまでご子息の小説の挿絵を描きつづけられていた。

中さんは、おひとりでの生活がむづかしくなり、ご長男夫妻と暮らすため平成十二年、三重の津に移転されたが、それ以前はわたしが住む桜台と目と鼻の先の氷川台にお住まいだった。歩いて五分とかわらない。近いのでいつでもお訪ねできると多寡をくくるうち、いつの間にか時が流れ、ついに果たすことなく終わった。人生にはしばしばそんな後悔に似たほろ苦いことがある。

著者略歴

植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年(株)テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。農業生産法人NIKI Hillsファーム相談役。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の罫」「気骨の人 城山三郎」など。



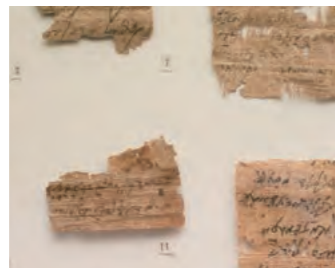
**紀元前の印刷物も  
円筒印章(シリンダー・シール)**

約4000年前、パピロニア周辺で広く用いられた円筒形の印章。円筒の刻印をこるがすことで印章として使用されました。(紀元前2200年頃・パピロニア出土)



**紙の語源といはこれ  
パピルス文書(原葉)**

古代エジプトで用いられた、カヤツリグサ科の1種であるパピルスの茎が原料の書写材。ペーパー(紙)の語源。4~7世紀の原葉が所蔵されています。



**世界最古の現存印刷物  
百万塔陀羅尼(原塔)**

奈良時代、称徳天皇の命によって印行された100万巻の経文。ひとつ一つを100万基の木塔に収め、仏教寺院に分置された。

**本格的な  
活字本のルーツ  
グーテンベルク  
「42行聖書」**

活版印刷の発明家・グーテンベルクが制作したラテン語聖書。西洋で最初の本格的な活字本として、識字率向上、キリスト教の布教に貢献した書物。



「見る」だけでなく  
実際に「手で触られる」、  
貴重な  
コレクションの数々。



**印刷界で称賛される美書  
世界三大美書**

出版印刷史上、もっとも美しい本として称讃される三大美書である「チョーサー著作集」「タンテ著作集」「英語聖書」もコレクションされています。

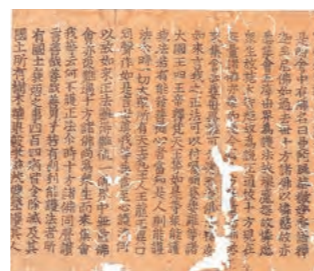
**浮世絵の名作も愉しめます  
安藤広重『日本橋之白雨』**

江戸末期の浮世絵師・安藤(歌川)広重の版木(複製)と版画。日本独自の木版多色刷技術の高さがわかる作品。同氏作「鉄砲洲築地門跡」も所蔵。



**貴重な印刷の版なども  
李朝の銅活字・木活字**

李氏朝鮮で多く用いられた銅活字と、梨やなつめの木を材料とした木活字。豊臣軍の朝鮮出兵により、活字、印刷技術、印刷本が伝わったと言われています。



**仏典の原葉にも触れる  
仏典『比叡山版』(原葉)**

鎌倉時代に刊行された寺院刊行の仏書。そのほかにも京都の臨濟宗五大寺と鎌倉五山の禅僧らを中心に開版した「五山版」の経文(16世紀)なども。

**ミズノプリンティングミュージアム**

RECOMMEND SPOT



印刷関係者はもちろんのこと、各界の研究者、美大生、近隣の小学生など、日本全国から来館者が訪れます。

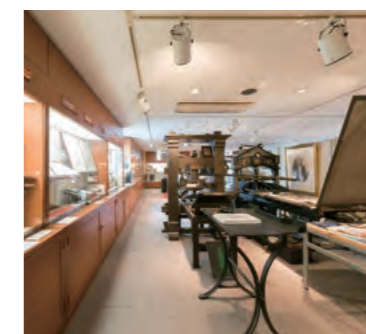
**“印刷”の長い歴史を彩った貴重な資料を多数所蔵する、  
見どころ満載の学術博物館「ミズノプリンティングミュージアム」。**

東京都中央区築地1丁目にあるビルの傍らに、「活字発祥の碑」があります。明治時代、日本語の鑄造活字を開発し、長崎で活版所を創業した本木昌造。彼の活版事業を引き継ぎ東京に進出。この地に東京築地活版製造所を興し、近代式活版印刷術の産業化を実現させたのが平野富二です。彼の功績を称えるこの石碑が示すとおり、かつての中央区界隈は印刷文化の中心地でした。

日本の印刷文化の源泉ともいえる中央区入船にある印刷会社、ミズノプリテック株式会社。この本社ビル6Fに「ミズノプリンティングミュージアム」があります。約50坪の展示室に所狭しと陳列されている国内外の古い印刷機や印刷の歴史に刻まれた関連書物は、その価値をはかることさえ難しいと思われる貴重なものばかり。これらすべては、館長を務める水野雅生さんの個人コレクションだというから驚きです。「家業の印刷を学ぶために大学卒業後の1961年に渡独。夏休みを使ってイギリス・ケンブリッジ大学の図書館を訪れた際、世界最古の現存印刷物が日本の「百万塔陀羅尼経」だと知り、「日本こそ印刷の歴史・伝統を誇れる国」であることに強く心打たれました。その出会いが印刷史の研究、印刷文化財の収集にのめり込むきっかけになったんです」と水野館長。帰国後、世界初の近代印刷物であるグーテンベルク「42行聖書」の原葉を入手したことを皮切りに、紙やインク、文字や装飾にこだわり抜いた「世界三大美書」や日本書紀など、古今東西の貴重書を収集。さらには、円筒印章やパピルス文書、朝鮮の木活字など印刷の原点ともいえる古代の歴史的資料、「機械遺産」の認定を受けた東京築地活版製造製の印刷機、1800年代の西洋製手引き活版印刷機など、水野館長のコレク

ションは質・量ともに広がっていったそうです。

「人類はこれまでに、3度のコミュニケーションの大革命を経験しました。最初は「言語」、2つめは「文字」。最後のひとつが印刷術の発明です」。印刷は、先人たちが自らの思いを伝えたいと努力を重ねた末に、発展したコミュニケーションメディア。日本の近代印刷発祥の地で、その生き証人である貴重な収蔵品と、じっくり向き合ってみませんか。



ミズノプリンティングミュージアム館長 水野雅生さん。印刷に関する熱のこもった講義は、知への学習意欲をかきたてる。

DATA

- 住所：東京都中央区入船2-9-2(ミズノプリテック株式会社6F)
- アクセス：東京メトロ有楽町線「新富町駅(5番出口)」
- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線「八丁堀駅(A2番出口)」下車、徒歩 5分
- 開館日：月～金曜日(祝日・年末年始等を除く) ※要事前予約
- 開館時間：10:00～16:00 ■問い合わせ：総務部 ■TEL:03-3551-7595
- HP: [http://www.mizunopritech.co.jp/04\\_museum/top.html](http://www.mizunopritech.co.jp/04_museum/top.html)

▶ 宮城県・東松島「復興の森」において  
和紙の原料植樹と紙漉き体験を実施

3月29日、宮城県東松島にある「復興の森」において、和紙の原料となる楮・三椏の植樹と紙漉きのワークショップを開催しました。これは、「復興の森」を自然豊かな森に甦らせることを目的に活動続ける「一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団」と共同開催したもので、地域の子どもたちに森の恵みの産物である「紙」について学んでもらうために企画しました。

講師には、和紙作家のアウテンボーガルト ロギール氏をお招きし、森で拾った落ち葉や花を漉き込んだオリジナルの和紙づくりをレクチャー。理事長を務めるC.W.ニコル氏も参加し、紙の起源や紙の本の魅力について、子どもたちに解説しました。今回植樹した楮20本と三椏30本は来年には和紙の原料となる予定です。今後はこの紙を有効活用した企画によって、「復興の森」支援を続けてまいります。



▶ 関西支店の社会貢献活動が評価され、  
松原市長より感謝状が授与されました

当社関西支店は、2015年9月に大阪府松原市立・四葉幼稚園において「段ボールで遊ぼう!」と題したイベントを開催しました。お取引先さまのご協力のもと、段ボール製の迷路をはじめとするさまざまな遊具を製作・提供。100組以上の来場者を集め、大変な賑わいとなりました。その後も松原市より依頼を受け、子育て支援センターでのイベント

や、松原市総合防災訓練での段ボール製防災グッズのご紹介など、さまざまな場所で段ボールを使った社会貢献活動を実施しました。これらの功績が認められ、「子育て支援」「地域福祉の増進」に大きく寄与したとして、3月25日に松原市長より表彰状が授与されました。今後も地域社会への貢献を目的とした活動を続けてまいります。



▶ 「2016 九州印刷情報産業展」に  
九州支店が出展

「2016 九州印刷情報産業展」が6月3日から4日の2日間、福岡市の福岡国際センターで「アクセス鮮度100%九州発信ブランドが時代をクリエイトする」をテーマに開催され、この展示会に当社九州支店が初出展いたしました。

会場では、当社が環境配慮事業を推進しているリサイクルビジネスモデル「ecomio」シリーズの紹介をはじめ、リサイクル原料を使用

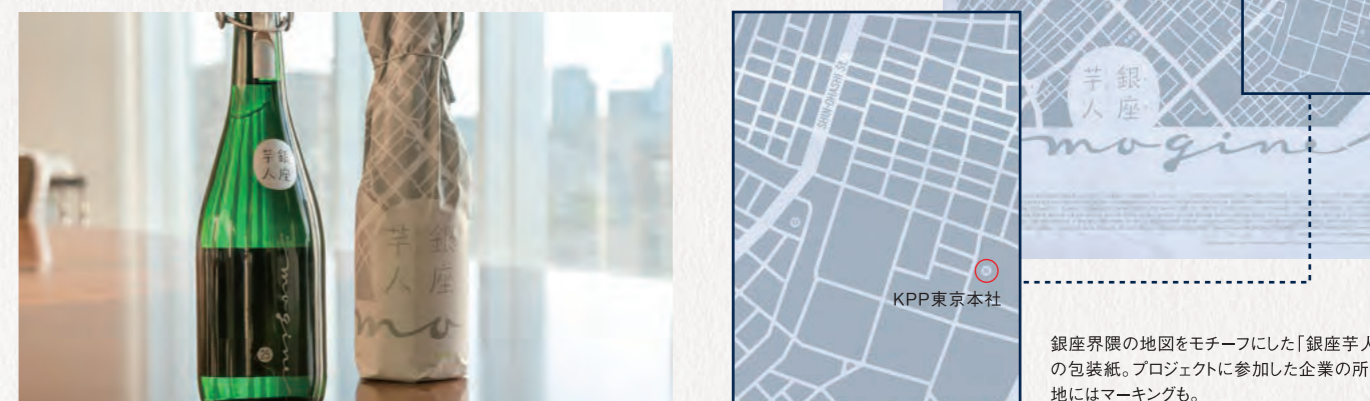
したプラスチックボードやオンデマンド用紙などの印刷関連資材を展示。また、当社ブース入口にはチェンジング効果(見る角度により2つの画像が現れる)のあるパネルを設置し、来場者の目をひきました。2日間の会期中は取引先の方々をはじめ、多くのみなさまに当社ブースにご来場いただき、盛況の内に終了いたしました。



▶ 銀座で栽培したイモを使った焼酎「銀座芋人」が発売、  
当社も原料の栽培に協力しました

当社は、NPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」が銀座屋上の緑化プロジェクトの一環として推進する、「銀座芋ROCKプロジェクト」に参加しました。これは、銀座周辺のビルの屋上でサツマイモを栽培・収穫し、それを原料として芋焼酎を作る取り組みです。初回となる今年は、銀座周辺で栽培されたサツマイモを10%、九州豊前産のサツマイモを90%使用した芋焼酎「銀座芋人」が完成しました。25度と33度の2種類があり、4月末に銀座三越・松屋銀座で限定500本が販売されました。

当社は今後も、都市と自然環境との共生、地域活性につながる活動に取り組んでまいります。



銀座界隈の地図をモチーフにした「銀座芋人」の包装紙。プロジェクトに参加した企業の所在地にはマーキングも。

編集後記

7月は和風月名で「文月」。この語源は、短冊に歌や文字を書き、書道の上達を祈った七夕の行事から「文披月(ふみひらきづき)」が変化したとする説が定説となっています。最近では文字を書くことが少なくなりましたが、本社では書道同好会が発足し、老若男女問わず「書」に親しんでいるようです。今年も本社ビルで仙台七夕飾りを設置していますので、書の上達を願ってみてはいかがでしょうか。(J.S)

梅の実が出回る6月ごろに、梅酒や梅干しを漬けることを「梅仕事」と言います。私は、昨年初めてつくった梅酒が周囲の方々に好評だったことに気分を良くし、今年もはりきって梅仕事に取り掛かりました。今年もバリエーションを増やして梅酒・ハチミツ梅酒・梅ジュース・梅干しに挑戦したところ、部屋の中が梅の瓶だらけに。昨年の梅酒を飲みながら、毎日それらを揺すったり眺めたりして、3ヵ月後の完成を心待ちにしています。(M.T)

8/6(土)~8(月)

EVENT

## 平成28年度 仙台七夕まつり

藩祖伊達政宗公の時代から続く、仙台夏の風物詩。市中心部には色とりどりの吹流しやくす玉などが無数に飾られ、街全体が豪華絢爛に染まります。笹飾りの和紙がふれあう音を聞きながら、仙台の町並みを風情たっぷり楽しめます。



DATA

- 会場:宮城県仙台市(市内全域、中央通り、一番町などの中心部)
- 料金:無料
- 問い合わせ:仙台七夕まつり協賛会(仙台商工会議所内)
- TEL:022-265-8185
- HP:<http://www.sendaitanabata.com>

6/20(月)~8/19(金)

EXHIBITION

## KPP本社七夕飾り

当子会社・鳴海屋紙商事が制作した、仙台七夕まつりで使用される本物の笹飾りを本社エントランスに展示。一般の方も見学可能ですので、ぜひお立ち寄りください。\*ご来社時に受付にお声がけください

DATA

- 会場:国際紙パルプ商事本社1Fエントランス
- 料金:無料
- 問い合わせ:国際紙パルプ商事 経営企画本部 CSR・広報課
- TEL:03-3542-4169
- HP:<http://www.kppc.co.jp>

7/6(水)~8(金)

EXHIBITION

## 第8回 販促EXPO

今話題の販促グッズ・サービスに出会える、販促業界最大の商談専門展。今年は2つの特設エリアが新設されることで話題に。当社も昨年に引き続き出展いたします。[当社ブース:西1ホール W2-8]

DATA

- 会場:東京ビッグサイト 西ホール(東京都江東区有明3-11-1)
- 料金:無料(ただし、招待券と名刺が必要)
- 問い合わせ:販促EXPO事務局
- TEL:03-4334-8936
- HP:<http://www.spex.jp>

8/13(土)~15(月)

EVENT

## 第52回 鳥取しゃんしゃん祭

“しゃんしゃん”とは、温泉の湯が豊富に沸き出る音と、軽やかな鈴の音を表したもので、金銀の短冊と30個の鈴をつけた色鮮やかな傘を手にした4,000人以上の踊り子が、鈴の音を鳴り響かせながら市内の大通りを踊り歩く様は迫力満点です。



DATA

- 会場:鳥取県鳥取市(若桜街道、智頭街道、きなんせ広場、千代河原河川敷等)
- 料金:無料
- 問い合わせ:鳥取しゃんしゃん祭振興会事務局
- TEL:0857-20-3210
- HP:<http://tottori-shanshan.jp>

8/3(水)~6(土)

EVENT

## 秋田竿燈まつり

五穀豊穡を祈願する東北三大まつりの一つ。50kgもの竿燈から垂れる、稲穂に見立てた約10,000個の提灯の光が秋田の夏の夜空を幻想的に照らします。

DATA

- 会場:秋田県秋田市(竿燈大通り)
- 料金:無料(ただし観覧席は有料)
- 問い合わせ:秋田市竿燈まつり実行委員会事務局(秋田市観光物産課内)
- TEL:018-866-2112
- HP:<http://www.kantou.gr.jp>

8/6(土)

EVENT

## 寄居玉淀水天宮祭

水難除けと安産を祈願する、関東一の水祭り。荒川に浮かぶ提灯とぼんぼりに飾られた5隻の舟山車と、城山を背景に打上がる花火は、息をのむ美しさです。

DATA

- 会場:玉淀河原(埼玉県大里郡寄居町)
- 料金:無料(有料席もあり)
- 問い合わせ:寄居玉淀水天宮祭実行委員会事務局(商工観光企業誘致課)
- TEL:048-581-2121
- HP:<https://www.town.yorii.saitama.jp/soshiki/13/suitengu.html>

※開館日、開館時間等は、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。お出かけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイレージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライシインキを使用しています。

エコ・プレス  
バインダー

針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行:経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>



# 作る

紙と触れ合い、モノを作る

「PAPERCRAFT on the DESK」

## デスクの小物をすっきり収納

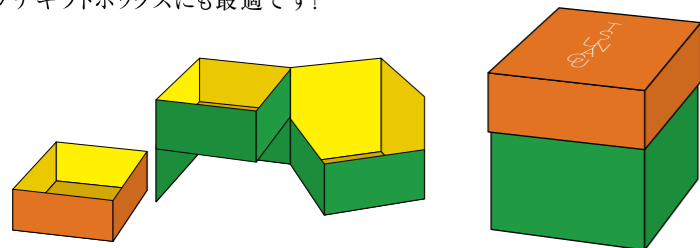
### 「二層式スクエアボックス」

クリップや輪ゴム、ホッチキス針や画びょうなどなど…。

デスクまわりに散乱しがちな小物がすっきり収納できる二層式ボックスです。

上段と下段にわけて格納できるので機能的かつ収容力も2倍!

プチギフトボックスにも最適です!



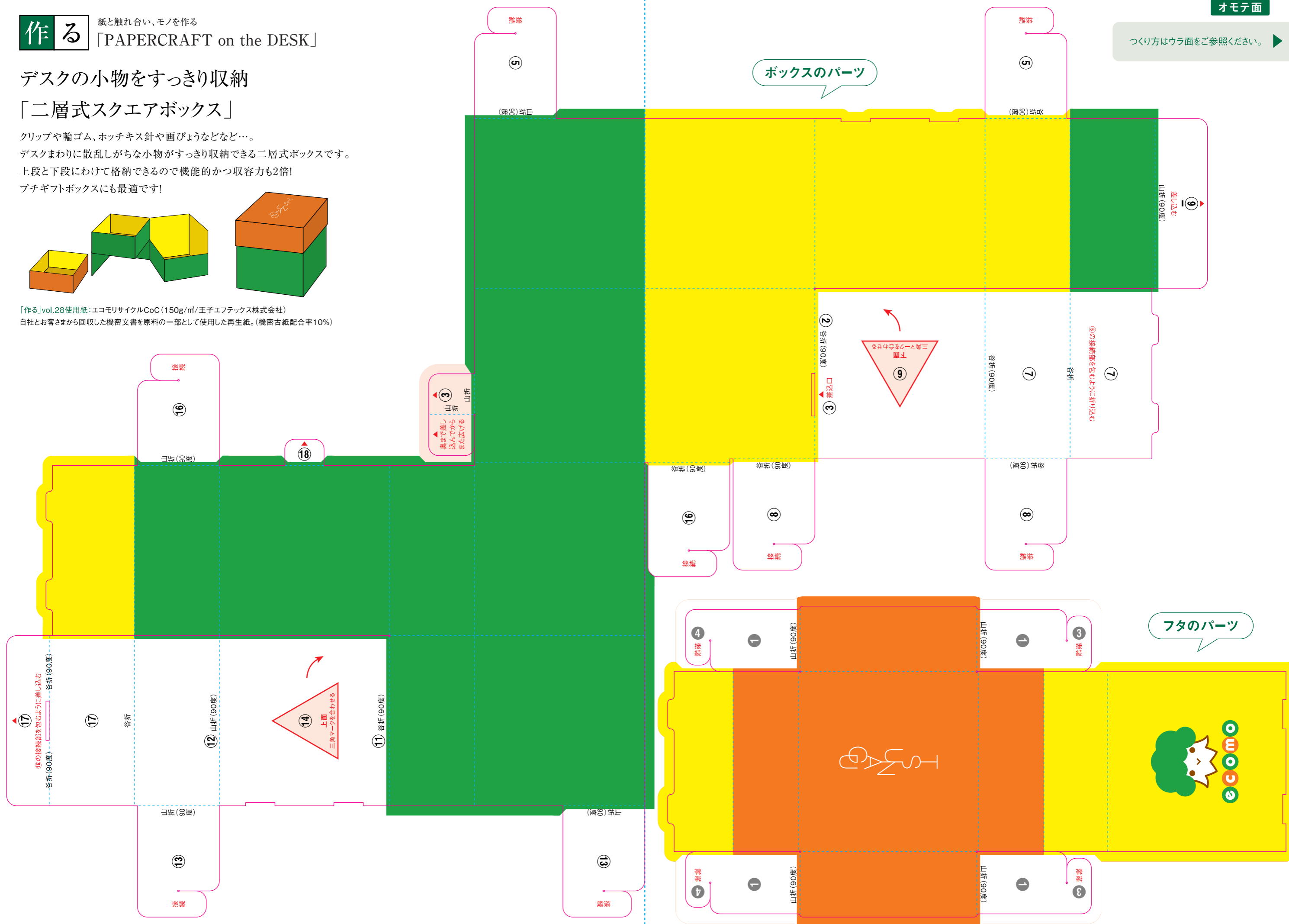
「作る」vol.28使用紙:エコモリサイクルCoC(150g/m<sup>2</sup>/王子エフテックス株式会社)  
自社とお客さまから回収した機密文書を原料の一部として使用した再生紙。(機密古紙配合率10%)

オモテ面

つくり方はウラ面をご参照ください。▶

ボックスのパーツ

フタのパーツ



# 作り方

はじめに抜き型に沿って、「フタ」と「ボックス」のパーツに切り分けます。

先に「山折」と「谷折」を軽く折っておくと作りやすいですよ!

## フタの作り方

**1**の4つを垂直に立ち上げます。

**2**を両方内側に折ります。

その際**8**どうし、**9**の大ききな面を内側に折り込んでから、**9**を内側に折り込むと...

**3**のツメを折った状態で差込口に入れ

奥まで刺してもう一度裏側から広げます。

次に**4**を90度に折り、**5**どうしをつなぎます。

**6**：矢印の方向に90度回転させ(上下の三角形を合わせる)、**7**：5の接続部を包むように折り込みます。

フタの完成!

## ボックスの作り方

下段ボックス(1~9)、上段ボックス(10~18)の番号順につくります。

センターラインの**1**を谷折りして、**2**を90度に山折りします。

**3**のツメを折った状態で差込口に入れ

奥まで刺してもう一度裏側から広げます。

次に**4**を90度に折り、**5**どうしをつなぎます。

**6**：矢印の方向に90度回転させ(上下の三角形を合わせる)、**7**：5の接続部を包むように折り込みます。

ボックスの完成!

**8**どうしをつなぎます。

**9**は5の接続部を包むように外に折って差し込みます。

**10**：矢印の方向に全体を谷折り、**11**：折り返すように山折りします。その際**10**も折っておきます。

**12**を90度を立てて、**13**どうしをつなぎます。

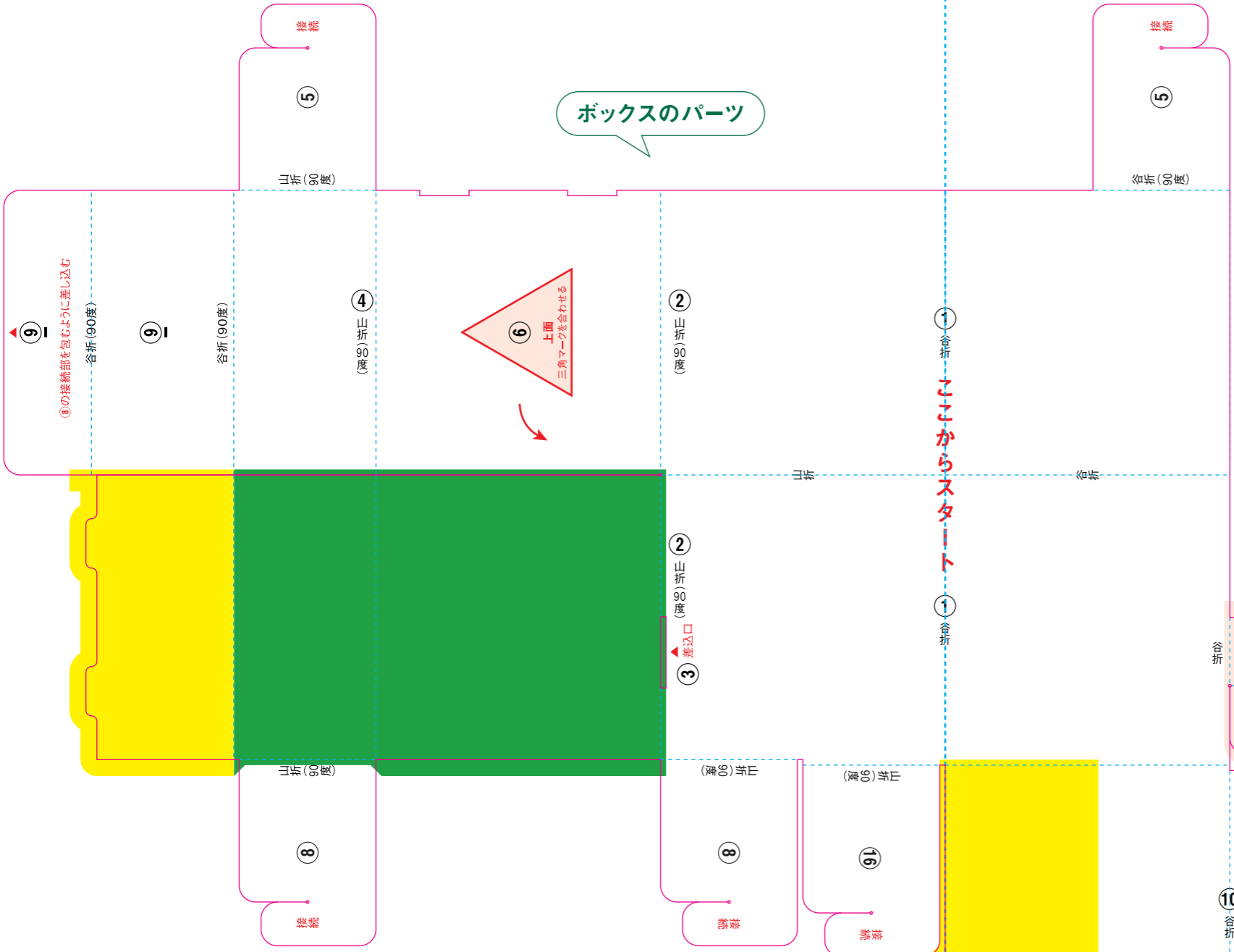
**14**を合わせたら、**15**で13の接続部を包むように折り込みます。

**16**どうしをつなぎ、**17**を矢印の方向に折り込んで差し込みます。

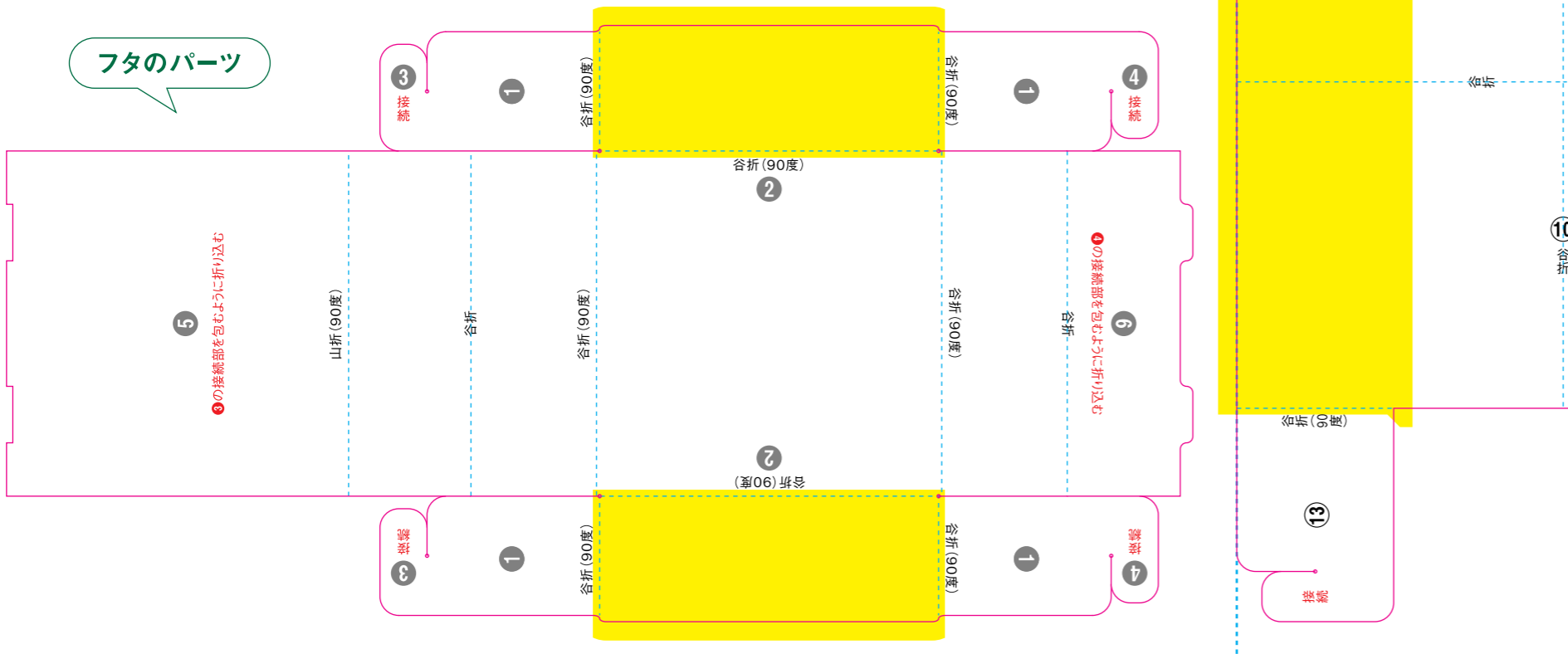
**17**を差し込む際にストッパーとして、**18**を差し込むと...

ボックスの完成!

### ボックスのパーツ



### フタのパーツ



**3** 谷折  
ここを折って切込口に差し込む

**14** 谷折  
ここを折って切込口に差し込む